

令和3年第1回燕市議会定例会  
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
3月1日(月)	午後	1	長井由喜雄	議員		○
		2	堀勝重	議員		○
		3	小林由明	議員		○
4日(木)	午前	4	土田昇	議員		○
		5	柳川隆	議員		○
	午後	6	樋浦恵美	議員		○
		7	柴山唯	議員		○
		8	田澤信行	議員		○
5日(金)	午前	9	齋藤信行	議員	○	
		10	タナカ・キン	議員		○
	午後	11	渡邊広宣	議員		○
		12	宮路敏裕	議員		○
		13	大岩勉	議員		○

令和3年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	1. コロナ対策の現状と課題について	(1)教育・保育施設やその他公の施設における感染予防と課題について	<p>①市役所では、1月19日にサーマルカメラが一部の場所に置かれた。現在何台購入し、どこに置いたのか。今後の設置計画はあるのか伺う。</p> <p>②体調把握と関わり方について、小中学校及び、保育園こども園、学童保育など、教育子育て施設においては、どういう感染予防対策をとってきたか。子どもや教師、保育士、その他関係職員の体温の把握や、日常的な、これまでは当たり前だった関わり方をどう変えてきたか。また、変わるべき点は何か伺う。</p> <p>③教育、保育関連施設でもサーマルカメラの導入が必要と考える。また、繰り返し提案してきたように深紫外線による空間除菌、あるいはオゾンを活用した空間除菌などの対策を講じる意思はないのか。置かない理由は何か伺う。</p> <p>④感染者が出た場合の情報伝達基準については、どうなっているか。この度のケースでは、情報をどういうカタチで、どの範囲まで伝えたか伺う。</p>
		(2)介護施設や障害者福祉施設などでの感染予防と課題について	<p>①介護事業所や、障害者福祉施設における感染予防と課題。介護事業所が、最大限の感染予防策を講じていることは言うまでもないことと思う。さらに必要なことはないのか。</p> <p>②燕市内の事業所で発生したときには、施設名も公表された。このときには、保険者から各介護事業所に情報はきちんと伝達されたのか。課題として浮かび上がったことはあったか。課題解決に向けて、具体的な取り組みは始められたか伺う。</p>	
		(3)必要なPCR検査の実施とワクチン接種の準備状況について	<p>①教育・保育・介護施設においては、職員の定期的なPCR検査を行うことが必要だと考える。市は、教育の義務、保育の実施義務を持つ。そして、介護については保険者として万全を期す必要があり、定期検査を求めるがいかかがか。</p> <p>②市民に対してもPCR検査を拡充していくことが必要と考えるがいかかがか。</p> <p>③市民へのワクチン接種の準備状況について伺う。</p>	
		2. 保育環境について	(1)燕市私立保育園・こども園連盟との懇談から	<p>①0歳、1歳児の受け入れで、「定員に対し、保育士が確保できないことから、定員を下回る人数で新年度をスタートせざるを得ない」との深刻な発言があった。現在、私立園、公立園で同様の実態についてはどうか。また、この状況をどう考えるのか。</p>
		(2)新年度の公立保育園の体制と、2年度目に入る会計年度任用職員の任用について	<p>①新年度の入園希望数はどうか。公立保育園の2園の廃園により、職員動向はどうか。引き続き、公立保育園を希望する会計年度任用職員で採用継続されない人はいないか。「任用内定」「任用保留」「退職通知」については、その他の職種も含め、どうだったか伺う。</p> <p>②正規・非正規のアンバランスによる課題はないのか伺う。</p>	
		(3)保育士人材バンクについて	<p>①ホームページでも募集されている、保育士人材バンクの記載内容について伺う。</p>	

(次ページへ続く)

発言の順序	発言者	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄 (一問一答方式)	3. 30km圏内にある柏崎刈羽原子力発電所について	(1)一連の、安全を脅かす東京電力の姿勢と「運転資格」について	①一連の安全を脅かす東京電力の姿勢と、「運転資格」について市の考え方を伺う。
			(2)これまで言われてきた発電コストと現実について	①これまで言われてきた発電コストと、現実について市の考え方を伺う。
			(3)避難計画について	①避難計画の実効性について伺う。
			(4)市民の命と暮らしを守ることと「事前了解」について	①市民の命と暮らしを守ることと、「事前了解」について市の考え方を伺う。
2	堀勝重 (一問一答方式)	1. 新型コロナウイルス感染症について	(1)新型コロナウイルスワクチン接種について	<p>国は、厚生労働省健康局から、「新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について」自治体に対し通知しております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生の状況に対処するため、予防接種の実施体制の整備等を行うものとし、このワクチン接種は国の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施するものとなっています。</p> <p>①本市における、現時点での「新型コロナウイルスワクチン接種」の体制や、接種方法等の実施計画について伺います。</p>
		2. 子育て支援について	(1)子どもの遊び場施設の更なる充実について	<p>平成31年3月議会の一般質問において、「子どもの遊び場施設の更なる充実について」質問いたしました。答弁では、調査研究し検討してまいりたい」とのことでありました。</p> <p>このことは、本市の子育て世代の方々の、今も変わらない大きなニーズであり、願いであると受止めております。</p> <p>①平成31年3月議会での一般質問で提案いたしました、アンケート調査の件も含め、子どもの遊び場の更なる充実について、市の検討結果について伺います。</p> <p>②新たな子どもの遊び場施設の必要性や、整備について市の考えを伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	堀 勝重 (一問一答方式)	3. 市道の除雪対策について	(1) 消雪パイプ設置市道の除雪について	<p>今年の1月9日から11日にかけて大雪となり、市内各地で消雪パイプが設置してあるにもかかわらず、消雪機能が果たせていないため、車や歩行者の通行が思うようにできない状況となったところが、今回特に多くあったようであります。</p> <p>① 冬季前に消雪パイプの稼働点検を業者が行っているようではありますが、具体的な委託業務内容について伺います。</p> <p>② 消雪パイプの水が出ない、ノズルが詰まっているなど修繕が必要となった場合、修繕工事实施までの手順と工事費の負担について伺います。</p> <p>③ 消雪パイプが設置してある市道であって、消雪機能が果たせていないところの除雪の現状把握と、対応について伺います。</p> <p>④ 今回の大雪により、スワロー号の運休はあったのか伺います。</p> <p>⑤ スワロー号の運休があった場合、市民への周知はどのようにされたのか伺います。</p>
3	小林 由明 (一問一答方式)	1. 大雪に係る問題について	(1) 除排雪、雪捨て問題について	<p>① 大雪の際には、道路圧雪によるスリップ、スタックなどが発生しがちで、それにより車体や積み荷が傷つくなどの被害が生じている。</p> <p>また、渋滞が引き起こされることで、救急車など緊急車両の往来にも支障をきたす、深刻な問題となることもある。</p> <p>車道上への雪捨てについては、住民の生命財産に危険を招くことから、それを禁ずる呼びかけが必要であり、それとともに、雪捨て場、雪置き場の無い地域の除排雪を支援するための策を講じる必要があるが、市の考えを伺いたい。</p> <p>② 大雪の際には、消雪パイプ設置地域においても除雪車による除排雪が行われており、市の柔軟な対応に感謝する声が届いている。</p> <p>一方で、こうした地域内除雪によって生じた雪置き場の確保に苦心する声も届いている。市と地域と除雪事業者が連携し、大雪を想定した降雪期前の地域内雪置き場の確保と、雪置き場として供された土地の使用料支援などの仕組みを講ずるべきではないか。</p>
		2. COVID-19対策について	(1) 各種事業者への支援について	<p>① COVID-19(新型コロナウイルス感染症)感染者が発生したのちは、保健所の指示により消毒作業が実施されることになる。事業者負担の軽減と、速やかな事業再開につなげられるよう、感染者が発生した事業所の消毒費用の支援を行ってはいかがか。</p>
		3. 空き家の活用について	(1) 自治会などによる空き家活用の推進について	<p>① 市では、自治会における集会施設建設費などの補助金交付を行っている。</p> <p>燕市空き家・空き地活用バンクへの登録がなされている空き家を活用する場合には、建物購入費や修繕費についての補助割合の引き上げや、リノベーションまでが含まれるよう補助対象事業の範囲を拡大するなど、空き家活用と地域のリノベーション推進の一手法として、自治会集会所などにおける空き家活用の優遇措置を取り入れてはいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	小林 由明 (一問一答方式)	4. 公共施設の設置とまちづくりについて	(1) 全天候型子ども遊戯施設整備について	<p>① 内容の充実した全天候型子ども遊戯施設については、保護者に限らず子育てに関わる多くの方から、その整備を求める声が上がられ続けているのは全国的な傾向であると認識しており、今般燕市においてその整備に臨む考えが示されたことは心から歓迎するものである。</p> <p>一方で、子育て施設に関わらず、公共施設の設置が市全体に与える影響は小さくないと考えているが、本施設が与える影響について、市はどのようなイメージを持ち、どのような効果を導きたいと考えているか伺いたい。</p> <p>② 本施設は、子育てや、まちづくりに対する燕市の姿勢を具現化するシンボリックなものとなることから、立地については、それも加味した検討が必要であると考えている。市は本施設の立地としてどういった環境が望ましいと考えているか伺いたい。</p> <p>③ 施設整備費用については、他自治体の類似施設を例にあげ4億円から7億円を参考として示している。無駄な費用を生じさせないことは当然であるが、費用削減を意識するあまり施設整備がもたらす様々な可能性が閉ざされることのないよう、自由な議論がなされるときともに、長年に渡り市民に愛され得る施設とするための十分な整備費用をかけるべきという基本的な考えを持つ必要があると思うが市の考えを伺いたい。</p>
4	土田 昇 (一問一答方式)	1. 農業問題について	(1) 現在の農業情勢と今後の展望について	<p>① 新型コロナウイルス感染症が猛威をふるって長期化し、収束の目処が立っていません。市内でも大変な状況であり、現在多くの国民が苦勞していますし、農業関係者も大変な影響を受けています。厳しい経済状況の中でも、営農意欲を失わずに経営が持続できるように、今こそ国の支援が必要になると思います。</p> <p>昨年(2020年)の全国作況指数(99~100)が平年並みで推移していますが、人口減や新型コロナウイルス感染症拡大等々により、需要量の減少が重なり(現在民間の米の在庫は12月末で334万トン)、在庫が大きく積み上がっています。このような情勢の中で、国は、2021年の生産量を令和2年(2020年)産よりも平年作で換算して36万トン少ない、過去最大規模の減産となる693万トンに設定いたしました。新潟県でも2020年産と比較し、1割を超える減産を提案し、その数量は52万トンとする目標を設定しています。52万トンの内訳、現在承知している内容(加工用米、備蓄米、米粉用米、飼料用米、輸出用米)について伺います。</p>

(次ページへ続く)



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	土田 昇 (一問一答方式)	1. 農業問題について	(1)現在の農業情勢と今後の展望について	<p>②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によって、学校の休校や、給食、外食産業、イベントの自粛等々で農産物の需要が大きく失われ、価格の暴落を引き起こしています。その一方で、年間77万トンのミニマムアクセス米については「聖域」として実施されてから25年が経過していますが、当時の国内需要量が4分の3に減少している中で、ミニマムアクセス米の見直しを国に強く求めていくべきと思うが、その見解について伺う。</p> <p>③昨年の農業就業人口の7割が65歳以上となっており、その理由として大きいのが、生産コストを下回る農産物価格が原因で、毎年離農者に歯止めがかからない状況にあると思います。米農家の撤退をこれ以上進めないためにも、(1)義務でない輸入を減らす、(2)今以上にゆとりある備蓄米制度の確立、(3)戸別所得補償の復活、(4)米価の最低価格の保障60キロあたり19,000円以上を国に強く求めてほしい、(5)農家の土地改良費の負担の軽減を国に強く求めて欲しい。</p> <p>④国連は2019年から「家族農業の10年」をスタートさせました。飢餓と貧困の克服、持続可能な社会のために家族農業の役割を再評価し、各国に政策の転換を求めています。市の農業対策でも用水、排水、道路整備、管理を考えたとき、家族農業がその地域を守ってきたと思いますがその認識について伺います。</p>
		2. 市内小中学校のいじめの実態と不登校について	(1)昨年の12月議会以後の対応について	<p>①昨年の12月議会で市内のいじめの実態について質問いたしました。その答弁として、「昨年(2019年)11月26日現在で、市内18校でいじめを認知し、小学校では13校で33件、中学校では5校で25件のいじめを認知いたしました。これは、小学校は前年度82件に対して大きく減少し、中学校は前年度の23件とほぼ同じになっています」と答弁していますが、それ以後どのように対応し、どのような状況になっているか伺います。</p> <p>②同様に、市内の各小中学校の不登校の実態と対応について伺いました。その答弁として、「小学校では11人、中学校では44人となっています。また、今後不登校の定義に当てはまると思われる欠席14日以上の子童生徒を加えると小学校で27人、中学校で56人となっております。さらに市教育委員会といたしましては、新たな不登校をうまないため、不安やストレスを抱える子どもたちの心に寄り添ったきめ細かな対応を丁寧に行うよう、各学校を引き続き指導して参ります。また、不登校の要因を的確に捉え個々の状況に応じた効果的な支援ができるよう、保護者や児童生徒の意向等を確認しながら、スクールソーシャルワーカー等を派遣するなど、支援体制を強化しております」と答弁されていますが、その後どのように対応して、現在どのようにしているか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	土田 昇 (一問一答方式)	2. 市内小中学校のいじめの実態と不登校について	(1) 昨年の12月議会以後の対応について	<p>③小中学校の少人数学級について「25人を下回らない」とする規定がありますが、正規教職員の大幅な増員と、定数外だが短時間勤務教員(再任用も含む)とで、余裕のある教育現場が求められると思うが、教育長の見解について伺う。</p> <p>④改正労働安全衛生法で新設された規定(第66条の8の3)、及び関連する厚生労働省令に基づいて「客観的な方法その他適切な方法」を用いて教員の労働時間管理、健康管理を厳格に行うことが求められると思うが、教育長の見解について伺う。</p>
		3. 県立吉田病院の今後について	(1) 公設民営について	①県立吉田病院の指定管理体制を含む、民間活力を生かした公設民営化の動きについては、県内医療法人が興味を示していると報道されているが、公設民営の基本的な考え方について市長の見解を伺う。
5	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 都市整備行政について	(1) 除雪のこと	<p>①今年度の除雪計画書の最後のページに、過去3カ年の市内除雪状況が載っており、平成29年度は市内一斉除雪回数17回、除雪費は3億2,700万円となっている。今年度は、現時点で一斉除雪が10回行われているが、除雪費用の合計について伺う。</p> <p>②3年前の大雪から何を学んだのか伺う。</p> <p>③今年度の大雪で何が一番問題であったのか伺う。</p> <p>④消雪パイプの苦情も耳にしたが、その可動のシステムについて伺う。</p> <p>⑤消雪パイプの設置要望の現状について伺う。</p>
		2. 保育園の給食について	(1) 給食への異物混入のこと	<p>①異物の特定はできたのか伺う。</p> <p>②混入経路、及び混入に至った原因はどこまで調査できたのか伺う。</p> <p>③2月10日付けの報道の記事の末尾に「翌9日からの給食は、管理栄養士が調理担当職員三人に、作業手順を改めて徹底することなどを指導したうえで、通常通りに再開した」とあるが、この作業手順の徹底にどんな意味があるのか伺う。</p> <p>④前回の12月の定例会でも、中学校の給食に異物が混入していた件を一般質問したが、ここ5・6年の間に起きた給食関連の不祥事は少なくはない。今回も含めて、教育委員会に席を置くのが短くない教育長は、各案件に通底するような因子を捉えているのかどうか伺う。</p>
		3. 産業振興行政について	(1) 中小・零細事業所への助成金のこと	<p>①市では事業を承継している中小企業の新商品の開発等に対して、どのような助成金事業を行っているのか伺う。</p> <p>②零細事業所に対しては、どのような助成金事業を行っているか伺う。</p> <p>③上記①②の各実績について伺う。</p> <p>④栃木県の真岡市は人口が約8万人で燕市と同じで、中小企業が2,300社に上り、このうち約2,000社は従業員20人以下の小規模事業者。中小企業、あるいは小規模事業者に対し、事業承継や新商品開発の助成金20万から30万円を行う予定でいるが、何か学ぶ点があるか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 公営住宅について	(1) 入居時の連帯保証人について	<p>① 公営住宅への入居申込みをする際、連帯保証人の設定など所定の手続きが必要となりますが、連帯保証人の要件について伺います。</p> <p>② これまで、連帯保証人を確保できないために、入居できないといった事例はあったのか伺います。</p> <p>③ 2018年3月に国土交通省は、公営住宅への入居条件から連帯保証人規定を外すよう、自治体に通知しました。連帯保証人の確保が困難な方へは、どのように対応されているのか伺います。</p>
		2. 男女共同参画について	(1) 男女がともに働きやすい環境づくりについて	<p>① 平成29年に策定された「第3次燕市男女共同参画推進プラン」では、男女がともに働きやすい環境づくりとして、ハッピーパートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)の登録数の目標値を掲げている。令和4年度の目標値は66社としていますが、現在の登録数を伺います。</p> <p>② 令和2年度の新規事業として、つばめ子育て応援企業サポート事業を実施していますが、取り組み状況について伺います。</p>
			(2) 男性の育児休業取得について	<p>① 本市では、市長・副市長・教育長をはじめとする部・課長が、平成28年10月31日に「燕市イクボス宣言」を行いました。 直近3年の男性・女性職員の育児休業取得者数について伺います。</p> <p>② 男性職員の育児休業取得促進のため、どのような取り組みが必要なのか伺います。</p>
7	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 人口減少・少子化対策	(1) 子宮頸がん予防について	<p>① HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンは国により平成25年4月に定期接種が開始され、同年6月に積極的推奨の一時差し控え決定がなされたが、これまで燕市は定期接種対象者、及び保護者へどのように対応したのか。また、HPVワクチン接種数はどう推移しているか。</p> <p>② 昨年10月に、厚生労働省から今後も積極的接種推奨は差し控えるが、対象者等に対して、HPVワクチンが「公費によって接種できるワクチン」であり、「接種について検討・判断するためのワクチンの有効性・安全性に関する情報」や、「接種を希望した場合の円滑な接種のために必要な情報」を届けることを目的として情報提供をすることが各自治体に通知された。これに対して燕市ではどのように対応したのか。また、今後どのような対応をしていくのか。</p> <p>③ 子宮頸がん検診の検診率はどうか。また、要精密検査対象者への対応はいかがか。</p>

(次ページへ続く)



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 人口減少・少子化対策	(2)働きながら子育てしやすい環境について	<p>①このほど厚生労働省は、女性の負担が特に大きい出産の直後に、男性が育児休業を取りやすい環境を整備しようと、関連する法律の改正案をまとめた。男性の育児休業をめぐり、政府は2025年までに取得者の割合を30%にすることを目標に掲げているが、2019年度は7.48%にとどまっている。</p> <p>そこで、市の男性職員の育休取得率、取得期間はどうか。また、どのような取り組みをしているのか。今後の取得率の目標はいかがか。</p> <p>②近隣自治体では、イクメン企業アワードにて2018年度に両立支援部門グランプリを受賞した企業があるが、市内民間企業の男性育休取得に対する取り組みはいかがか。</p> <p>③近年就活での企業選びに、ワーク・ライフ・バランスが重視され、なかでも厚生労働省が認定する「くるみんマーク(子育てサポートマーク)」や「えるぼしマーク(女性活躍推進についての取り組みが優良な企業マーク)」があるかどうか判断材料になっている。今後、U・Iターンを促進するという観点から、このマークの認定を目指す動きをするべきと考えるがいかがか。</p>
8	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 新型コロナウイルス感染症について(ウィズコロナ、アフターコロナ)	(1)新型コロナウイルス感染症の市内発生状況について(現状分析)	<p>①燕市における新型コロナウイルス感染症は、4月3日に1名の発症者はあったものの、その後は8月5名、9月2名、11月2名と稀の発症であったが、12月は21名、1月31名、2月は14日までで30名となり感染が拡大しています。要因をどのように分析しているか伺います。</p> <p>②クラスターとなった施設でのPCR検査が終了すれば、減少傾向になるのではないかと思うが、今後の予測を現時点でどう捉えているかを伺います。</p>
			(2)市内事業者への支援策について	<p>①フェニックス11の「市内事業者の雇用の維持と事業の継続のための対策」として4項目ありますが、それぞれの申請件数と助成金の実績について伺います。</p> <p>②市内事業者、及び市内店舗で廃業に至った件数について伺います。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大の対策として、その結果、飲食業に多大な影響を与えていますが、程度をわきまえた飲食(少人数、短時間、騒がない・・・)を推奨する考えは無いのか伺います。</p>
			(3)DX(デジタルトランスフォーメーション)の必要性について	<p>①令和3年度予算では、「アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進」とあるが、具体的にはどのような地域社会を将来的に目指すのかを伺います。また、その必要性についても伺います。</p> <p>②DXを実現するには市民や地元企業にとっても、それなりの初期投資が必要になってくると思いますが、無料Wi-Fiなどのインフラ整備をどのように考えているかを伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	田澤 信行 (一問一答方式)	2. I O T 推進事業について	(1) I O T 推進ラボの成果について	①令和元年度から始めた「IoT推進事業」ですが、初年度の決算額が5,748,820円、2年度予算が15,241,000円でしたが、(コロナ禍において)2年度の主な活動と、概ねの決算見込み額を伺います。 ②10月27日に開催した「燕市 IoT 推進ラボ」セミナーには、どれだけの参加者があり、その参加者の反応について伺います。
			(2) I O T 推進事業の終着点(目標)について	① I O T 推進事業は、S F T C (燕版共有クラウド)の採用企業を増やし、工場の受発注業務のE D I (電子データへの変換)化を実現し、その結果として生産性の向上に結び付けたいという狙いがあると思うが、最終的な数値目標(採用企業数)について伺います。
9	齋藤 信行 (一括質問一括回答方式)	1. 萬盛橋(ばんせいばし)及び、市内を通る国道・県道・市道について	(1) 萬盛橋(ばんせいばし)の方向性について	① 萬盛橋(ばんせいばし)の方向性については、平成29年9月の定例会で伺ったが、その後どのような方向になっているのか伺います。
			(2) 国道289号線について	① 国道289号線については、朝日大橋の開通後はどうなっているのか伺います。 ② 国道289号線は開通すれば、福島県と新潟県の観光道路になると思われるが、市の考えを伺います。
			(3) 市内の道路について	① 市内には様々な道路があり、道路ができることにより市の発展に繋がると思うが、国・県などの関係もあり予算もある。希望的な部分も含めて、市長の考えを伺います。
		2. 除雪について	(1) 今年度の除雪について	① 今年度の雪の状況は今までと違い、一度に続けて積もるという状況で、除雪もフル稼働だったと思われるが、今後の課題を伺います。 ② 今年度の除雪に対しては、道路幅が狭くなり、車のすれ違いなど大変で、市ではロータリー除雪車は無いのかなど自治会長はじめ、市民の方々から様々な意見を伺ったが、市の対応はどうだったのか伺います。
			(2) 消雪パイプについて	① 今年度は消雪パイプも水が出ないなどで、機械除雪もあったようだが、市内の消雪パイプの状況を伺います。
		3. 小中学校の教育課題について	(1) 今後の教育について	① 1月26日の報道によると、中央教育審議会では小中学校の教育の在り方に関する答申を取りまとめ、小学校5・6年で専門の教員が教える教科担任制を、2022年度を目途に本格導入すると明記した。昨年の9月議会では、「調査研究を進め、教員の指導力の向上に力を入れる」との回答があった。来年度の教員の指導力向上の取り組みについて伺います。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
9	齋藤 信行 (一括質問一括 回答方式)	3. 小中学校 の教育課 題につい て	(1) 今後の教育 について	<p>② G I G A スクール構想の実現に向け、各校に1人一台のタブレット端末が整備される。ICTの活用により、個に応じた学習を推進することが可能となると聞かすが、その一方で、直接話し合い、雑談等を含めた交流には、学びの深まりや、興味関心の高まりなど豊かな学びが期待されると考えられる。G I G A スクール構想における児童生徒同士の交流について考えを伺います。</p> <p>③ 合併前の燕市では、幼稚園・保育園・小学校・中学校では「心の燕市8つのチャレンジ」＝「8チャレ」と呼ぶ取り組みを行っていた。この取り組みは、現燕市の幼児、児童、生徒にとっても、とても有意義な取り組みだと考えるが、現在の実施状況について伺います。</p> <p>④ 現在、学校では変化の激しい社会に対応できる人を育てるため、教員は新たな知識・技能を身に付けていくことが求められると思われる。教育委員会では、与えられる研修もあると思うが、自ら学ぶ意欲を育てることが大切なのではないかと。また、教員が心のゆとりを持ちながら、学校で子どもたちを指導するために、教員の働き方改革も重要と考えるが、教育長の所見を伺います。</p>
10	タナカ ・キン (一問一 答方式)	1. この冬の雪 対策につい て	(1) スクールバ スの遅れに ついて	<p>吉田中学校の生徒から、1月の大雪でスクールバスの停留所で約40分待たされたと聞いた。その後、30分待たされたこともあったという。スクールバスを運行している小・中学校のバスの遅れについて報告してもらった。</p> <p>① 「遅れなし」との回答もある一方で、「学校到着時が約1時間遅れた」との回答もあったが、遅れた生徒は授業に支障はないのか伺う。</p> <p>② 遅れた理由の中に「スクールバスの通路が除雪の雪で塞がれており、その道に入っていくことができなかった」との回答についてはありえない。大雪が降るのは、今に始まったわけではない。時間通りに生徒を学校に運ぶ工夫を考えるべきであるが伺う。</p>
			(2) 無駄と思え る除雪につ いて	<p>① 大雪が降り、除雪がうまくいってない道路がある中で、産業史料館前の空き地はきれいに除雪されていた。理由について伺う。</p>
			(3) 階段の除雪 について	<p>① 下道から土手に上がる階段を利用する歩行者は、主に子どもと高齢者である。通学路になっている場所も多い。橋の手前の階段には相当高いものもあり、足でも滑らせたら重大な事故につながる場所である。以前は、市で除雪をしていたと聞いているが、今後は安全のために除雪を考える必要があるのではないかと伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	タナカ・キン (一問一答方式)	2. 選挙ポスター掲示板の設置場所について	(1) 選挙ポスター掲示板の移設について	①今年、衆議院の解散総選挙が行われる。近年、選挙の投票率は下がる一方であるが、投票率を上げるためにも、市民にもっと関心をもってもらう必要がある。そんな中で、ポスター掲示板の設置場所が効果的、すなわち人が多く集まる場所、人の目に留まる場所などが少なすぎると感じているが、選挙管理委員会の考えを伺う。 ②現在の設置場所は、いつ、どのような基準で決められたのか伺う。 ③設置場所の移設は可能かどうか伺う。
		3. コミュニティバスについて	(1) コミュニティバスの運行状況について	①現在、県内20市でコミュニティバスを運行している市について伺う。 ②そのうち、土日運行している市について伺う。 ③燕市は3路線だが、他市の状況について伺う。
			(2) 燕・弥彦地域公共交通網形成計画について	①この計画策定のためにアンケート調査を行っている。その中から、(1)高齢者対象調査と、(3)公共交通利用者対象調査についての結果の内容について伺う。
			(3) 市民の利便性向上について	①市は、商店街の活性化や移住・定住策について、いろいろ考えてはいるが、それらにコミュニティバスの充実は欠かせないと思うが伺う。
11	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 産業政策について	(1) 市内企業の2020年度業績見通しについて	①市内企業全体の2020年度見通しについて。 ②業種別実績見込について。 ③雇用・採用及び解雇状況について。 ④新型コロナ禍で実施された雇用調整助成金、持続化給付金、融資金制度の主な利用実績について伺う。
			(2) 2021年度業績見通しと、新型コロナ収束を見据えた産業策について	①2021年度の市内企業の業績見通しについて。 ②収束後を見据えた企業などの支援策について伺う。
			(3) 新規産業育成策と人材確保策について	①今後の地域間競争を勝ち抜くために、産業(企業)育成と誘致について。 ②それに伴う優秀な人材の確保策を検討すべきと考えるが認識を伺う。
		2. 教育行政について	(1) 教育のデジタル化について	①教員のICT活用指導力と養成・研修計画について。 ②2021年4月からデジタル教科書の普及に向け、授業で時間の制限をなくす方針であるが、燕市の現況と計画見通しについて。 ③デジタル化でSTEM教育が重要と考えるが、認識を伺う。

(次ページへ続く)



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	渡邊 広宣 (一問一答方式)	2. 教育行政について	(2) 児童・生徒の学力向上について	①学習環境が急整備される中、児童・生徒の学力の現況と今後の課題について伺う。 ②児童・生徒の学力は、家庭の経済的豊かさが左右されると言われるが認識を伺う。
			(3) 教科担任制について	①2018年の文科省のまとめを基に、6年生について理科は47.8%、算数7.2%、英語活動19.3%との報告がある。燕市の現況と今後の計画について伺う。 ②ここでも教員の能力(質)と、人員の課題があると思うが認識を伺う。
12	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 就学援助制度について	(1) 就学援助制度のいっそうの充実施策について	①内外情勢により、少なくない世帯で収入減少に至る中、就学援助制度は義務教育における経済的負担軽減の大きな役割を担っている。昨年度、及び今年度の認定の現況、また、新年度での申請件数の推移について変化があるのか伺う。 ②学校と教育委員会の連携で、対象者の把握に努めていると思うが、取り組みの現況、また、教育委員会に専任の就学援助担当者を配置しているのか伺う。 ③文科省は2021年度の援助項目ごとに、補助基準を示しているが、本市では概ね同水準になっているのか、現状を伺う。 ④認定の所得基準について、本市より高い倍率設定の自治体もある。生活保護基準が下がっても、連動させない配慮をしていると思うが、必要な世帯にいっそう制度が届くよう、認定基準を広げていくべきと思うが認識を伺う。
			2. 原子力災害と防災について	(1) 柏崎刈羽原発再稼働問題の認識について
		(2) 原子力災害に備える安心・安全確保の施策について	①県は、原発が積雪時に重大事故を起こした場合を想定した冬季避難訓練を行っている。また、県内30市町村による原発問題研究会が、実務者によるオンライン会合を持ち、雪国特有の住民避難対策について議論したという報道がある。この会合に本市も参加していると思うが、どのような懸念や課題が寄せられたのか、把握している点について伺う。 ②東京電力は原発再稼働にあたり、立地自治体と事前了解に関する協定を結んでいる。県民の中には、この事前了解権を広げることを望む声があるが、これは本市市民にとっても安心・安全の観点から、より資するものと思うが認識を伺う。	



発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 ( 小 項 目 )
13	大岩 勉 (一問一 答方式)	1. 災害意識 を高める町 づくりにつ いて	(1)災害意識を 高める町づ くりと、燕市 民の生命・身 体、及び財産 を災害から 保護する防 災業務の現 状を伺う	①燕市消防「出初式」をなぜ中止されたのか。消防職員と消防団員が市民の安全安心のために、日頃訓練されている姿を多くの市民に見ていただくことも広報の一つとして大切と思いますが市長に伺う。 ②2月3日の燕地区花園町で発生した火災での消火作業は、的確な消火体制がとられたと報告はされているのか担当者に伺う。 ③現地指揮本部の設置が遅かったのはなぜか。地元の「燕市消防団第四分団第一部」が出動できなかった報告は確認されているか担当者に伺う。 ④花園町第2公園内敷地に設置されている(火災現場から約50mほど)、地下防火水槽を利用されなかった理由を消防本部に確認されているのか担当者に伺う。 ⑤花園町公園の防火水槽設置工事設備に要した工事費を無駄にしているのでは。当時の建設工事費金額とその後のメンテナンス費用を伺う。
		2. 燕市表彰 式での消 防団員の 表彰につ いて	(1)燕市表彰式 での消防団 員の「綱紀肅 正(こうきしゅ くせい)」を図 るべきでは ないか	①燕市表彰式に燕市消防団員14名の方が受賞されましたが、授賞式には2名だけの出席でした。欠席者は市長からの表彰を辞退されたのか市長に伺う。 ②来賓席に燕市消防団長が参列されていたが、欠席者の代理受賞を要請されなかったのか、また団長からの申し出はなかったのか伺う。